



## 聞蔵IIトリアル実施中



みなさん、こんにちは。暑い日が続いているので、夏ばてしないように、しっかりと食べて、栄養補給をしてください！

さて、前回のお便りでも少しお知らせしましたが、**六月、七月の二カ月間、朝日新聞データベース「聞蔵IIビジュアル版」のトリアルを実施**しています。図書館のホームページから、データベースのアイコンをクリックすると、左のページが出ますので、そこからご利用下さい。不明な点はカウンターまでどうぞ。

## 1階閲覧室がリニューアル



今月より、一階閲覧室にカウンターを設置し、職員が常駐するようになりました。今まで二階閲覧室でなければ本の貸し出し等々ができませんでしたが出ましたが、一階でも出来るようになりました。プリンターも使えます。便利になった閲覧室をぜひご利用下さい！

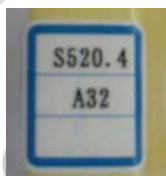


## 図書館Q&A

今回は、図書館でよく質問が出る項目について、お答えします！

**Q、本の図書ラベルについている「S」って何のこと？**

**A、図書館で本を検索しているとき、たまにラベル番号の数字の前に「S」という文字が付いた本があります。これは、図書館で本を管理する際に用いられる記号で、本を探す場合には全く関係ありません。ですの、検索をかけて「S」が出てきた場合は無視しちゃってください！（笑）**



## 先生方のおススメ本

今回おススメ本を紹介くださった先生は、

幼児教育科

『田中秀明先生』です。



### おススメ本

「三びきのこぶた」（福音館書店）

「三びきのコブタのほんとうの話」（岩波書店）

「3びきのこぶた」（童話屋）

「3びきのかわいいオオカミ」（富山房）

### コメント

今日は絵本を数冊ご紹介いたします。みなさんはイギリスの昔話である「三匹のこぶた」をよくご存知ですよ。原作が一番近いといわれている福音館書店の『三びきのこぶた』によると、お母さんぶたは生活苦から3匹を外の世界に出していたのでした。そして、1番目と2番目のこぶたは、狼に食べられてしまいます。レンガのお家を作った3番目のこぶたは、何と煙突から落ちた狼を大鍋でこと煮て、そのまま食べてしまうのです。あの3番目のこぶたが狼を食べるなんて…。『三びきのコブタのほんとうの話』は、加害者である狼の立場から書かれたものです。あの日、なぜ自分家を吹き飛ばしたのか、なぜこぶたを食べてしまったのか、一応彼なりの言い分がよくわかります。童話屋の『3びきのこぶた』は数学者である森毅さんによって書かれたもの。こぶたは3匹で家は5軒ある。さあ、こぶたはどの家に居るかという問題を狼が「順列」と「組み合わせ」で考えていきます。つまり「確率・統計」、私は読んでいて頭が痛くなりました。最後の『3びきのかわいいオオカミ』は、狼とぶたの立場を逆にしたお話です。とってもかわいい狼とこわい大ぶたが登場します。「狼⇨悪」「ぶた⇨善」というステレオタイプを払拭するには良い絵本です。

このように「こぶたとおおかみ」が登場する絵本はたくさんあります。みなさんも探してみたいかがでしょう。

